

こしがや 市議会だより

No.178
平成25年8月1日

発行 越谷市議会
編集 議会報専門協議会
☎964-2111 内線2405・2406
(直通) ☎963-9261 ☎966-6006
<http://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>

題名「はじめての二輪車」 撮影者 花澤 利雄 様(赤山町在住) 撮影場所 県民健康福祉村



今号の主な内容

1 ページ

- ◇ 6月定例会の概要
- ◇ 定例会日程

2・3 ページ

- ◇ 主な議案の内容
- ◇ 就任のあいさつ
- ◇ 審議結果

4・5 ページ

- ◇ 市政に対する一般質問

6 ページ

- ◇ 常任委員会の活動

7・8 ページ

- ◇ 特別委員会の活動
- ◇ 市議会からのお知らせ

定例会日程

6月3日(月)	○議長選挙 ○副議長選挙 ○議会運営委員の選任 ○常任委員の選任 ○埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙 ○越谷・松伏水道企業団議会議員の選挙 ○東埼玉資源環境組合議会議員の選挙 ○閉会中の継続審査案件の上程 ◇公共交通網整備推進特別委員長の審査結果報告、質疑 ○公共交通網整備推進特別委員会の閉会 ○市長提出議案の一括上程 ◇提案理由の説明
6日(木)、7日(金) 10日(月)、11日(火)	○市政に対する一般質問
12日(水)	○市長提出議案の質疑
13日(木)	○総務、民生、建設、教育・環境経済常任委員会 ○埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙 ○市長提出議案の審査結果報告 ◇質疑、討論、採決
19日(水)	○追加議案の上程 ◇提案理由の説明 ◇質疑、討論、採決

平成25年6月定例会は、6月3日から19日までの17日間にわたり開催された。

3日は、議長と副議長の辞職に伴いそれぞれ選挙が行われ、新たに金井直樹議長と岡野英美副議長が就任しました。また、任期満了に伴い議会運営委員会および常任委員会の委員が選任されました。そのほか、埼玉県都市競艇組合議会議員等の選挙が行われました。

市長からは、人事議案1件、一般議案11件、補正予算議案1件の計13件が提出され、人事議案を除いて所管の常任委員会に付託されました。

6、7、10、11日は、市政に対する一般質問が行われ、12人の議員が行政全般にわたり見解をいただきました。

6月定例会の概要

12日は、市長提出議案に対する質疑が行われました。

13日は、各常任委員会を開き、付託された議案の審査が行われました。

19日は、各常任委員会に付託された市長提出議案の審査経過ならびに結果が報告され、それぞれ質疑、討論、採決が行われ、13件の議案が同意または可決されました。さらに、「市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定について」の追加議案が市長から提出され、質疑、討論、採決が行われ、可決されました。

また、埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われました。

なお、6月定例会で審議された議案は3ページをご参照ください。

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

主な議案の内容

市長提出議案

補正予算を可決

今回の補正予算は、平成24年度において、国の補正予算により追加された補助金を活用し、公共投資を追加実施する地方公共団体に交付される「地域の元氣臨時交付金」を有効活用し、地域経済の活性化と雇用創出を図ることを目的に事業費を追加するものです。

補正予算額は、一般会計で2億6300万円の追加で、補正後の総額は、836億7900万円となります。各特別会計・病院事業会計を含めた全会計の補正後の予算総額は、1567億4700万円となります。

消防・救急デジタル無線整備 工事請負契約の締結

電波法関係審査基準等の改正により、アナログ方式の周波数の使用期限が平成28年5月31日までと定められたことに伴い、消防・救急無線をデジタル方式の周波数へ移行するため、無線設備等の整備工事を行います。

契約方法は一般競争入札で、契約金額は2億7615万円、履行期限は平成26年3月14日、契約の相手方は東日本電信電話株式会社埼玉支店です。

▼議案質疑

問 周波数をアナログ方式から

デジタル方式に変更する理由は、また、デジタル方式に変更した後に災害が発生した場合、近隣市との連携はどのように行うのか。

答 全国の消防本部で使用している消防救急アナログ無線が平成28年5月31日をもって使用ができなくなり、デジタル無線を使用することになる。このことにより本市だけでなく、全国の消防本部でデジタル無線の整備を進めている。

災害時には、埼玉県下消防相互応援協定および近隣市との相互応援協定の二つの応援協定を結んでおり、デジタル無線移行後については、各消防本部と調整を図ることになっている。

財産の取得
(越谷市消防署谷中分署用地)

経年による老朽化に伴い、越谷市消防署谷中分署の建て替えを行うため、新たに用地を取得するものです。

土地の所在地は、越谷市谷中町四丁目92番1ほか13筆、面積は5715・88平方メートル、取得予定価格は2億602万2542円、地権者は4人です。

▼議案質疑

問 既存の谷中分署から西に約250メートルの位置に用地を取得する理由は、

答 消防本部、大袋分署、蒲生分署との配置バランスを考え、消防力が低下しないように、ま

た、緊急車両の出勤に危険がないように位置を選定し、訓練塔や高度救助隊の配置を考え、5000平方メートル以上の用地を取得した。



現在の消防署谷中分署

越谷市地区センター設置 及び管理条例の一部を 改正する条例制定

新たな越谷市出羽地区センターの建設に伴い、位置および使用料について所要の改正を行います。

新たな出羽地区センターは、生涯学習、地域コミュニティ、地域福祉、防災救援および行政サービス機能を兼ね備えた本市における8番目の大型地区センターとして、平成25年12月1日の供用開始に向け、現在準備を進めています。

改正の内容は、出羽地区センターの位置を「越谷市七左町七丁目212番地」から「越谷市七左町四丁目248番地1」に変更するとともに、使用料についても、既存の大型地区センターと同様に、施設の規模に応じ

た使用料とします。

なお、本条例は位置の変更に係る改正規定については、平成25年12月1日から施行します。また、使用料に係る改正規定については、同年9月1日から施行し、12月1日以後の使用に係る使用料から適用します。

▼議案質疑

問 出羽地区センターの建設場所を選定した経緯は。また、出羽地区センター建設に当たって地元住民からの要望はあるか。

答 自治会連合会出羽支部等の関係団体で組織された出羽地区センター建設検討委員会において、平成18年から検討が進められ、出羽公園周辺に新たな地区センターの建設を希望するとして出羽地区センター建設に関する回答書が市長に提出された。市はこの回答書の趣旨を尊重し、出羽公園周辺で候補地を選定し現在の位置になった。

また、要望については、建設検討委員会から、既存施設を交流館として存続してほしい、バス路線の整備をしてほしいなど



新・出羽地区センター・公民館完成予想図

人事議案

次の方の推薦に同意しました。

人権擁護委員候補者

島村 憲子氏（再任） 向畑

7つの付帯要望が出された。既存施設の跡地については、敷地の所有者である農業協同組合と協議を進めている。その他の要望についても応えられるように努力したいと考えているが、まずは出羽地区センターの建設に力を入れ取り組んでいきたい。

仮称越谷市保健所建設工事 (建築・電気設備・空調 和設備) 請負契約の締結

平成27年4月1日の中核市移行に向け、仮称越谷市保健所の設置準備を進めています。

仮称越谷市保健所は、本市が新たに担うことになる食品衛生、環境衛生、医事・薬事等における専門的かつ技術的な分野についての総合的な取り組みに的確に対応し、市民の健康と安全を第一に考えたサービスの向上に資するため、建設します。

また、本市における地域医療体制の充実を図るため、現在の小児と成人の夜間急患診療所を移転し、複合施設として整備します。

・建築

契約の方法は一般競争入札による契約で、契約金額は8億5575万円、履行期限は平成26年9月30日、契約の相手方は高元・猪又経常建設共同企業体です。施設の構造および規模は、

鉄骨造4階建て、延べ床面積3792・84平方メートルです。

・電気設備

契約の方法は一般競争入札による契約で、契約金額は1億9320万円、履行期限は平成26年9月30日、契約の相手方は八洲・昭電経常建設共同企業体です。

・空調和設備

契約の方法は一般競争入札による契約で、契約金額は1億7010万円、履行期限は平成26年9月30日、契約の相手方は株式会社ナカノヤです。

荻島保育所建設工事(建築) 請負契約の締結

建て替え後の荻島保育所は、待機児童の解消を図るため、保育需要が増大している低年齢児を中心に、現在100人の定員を120人とし、子育て支援の拠点となる地域子育て支援センターを併設するとともに、深夜電力を利用した蓄熱式電気床暖房や太陽光発電設備を設置することで、環境にも配慮した施設とします。

契約の方法は一般競争入札による契約で、契約金額は1億5697万5000円、履行期限は平成26年3月14日、契約の相手方は、株式会社山下工務店です。施設の構造および規模は、

就任のあいさつ

議長 金井 直樹



■平成17年から当選3回。
建設常任委員長、予算特別委員長、議会運営委員、総務常任委員などを歴任（47歳）

副議長 岡野 英美



■平成19年から当選2回。
決算特別委員長、総務常任副委員長、予算特別副委員長、議会運営委員などを歴任（62歳）

市民の皆さまには、常日ごろより市議会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、私たちは6月定例会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。あらためてその使命の大きさと責任の重さを痛感しております。

さて、地方分権が進む中、地方自治体はより効率的な行財政運営と自立性の高いまちづくりが求められています。越谷市では、さらなる市民サービスの向上を図るため、平成27年4月に中核市への移行を目指しており、市政運営の一翼を担う市議会の果たすべき役割と責任はますます重要になるものと認識しています。

市議会では、市民に開かれた議会を目指して継続的に議会改革に取り組んでいるところですが、今年度は市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせするため、議会報告会を試行的に開催したいと考えています。

今後とも、常に市民の視点に立ち、信頼される議会の確立に努力してまいりますので、より一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月定例会の 審議結果

◇議案の概要はホームページで確認できます。

本定例会に提出された議案は全て全員一致で同意・可決されました

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第55号	省略	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長提出第62号	民生	仮称越谷市保健所建設工事（電気設備）請負契約の締結について
市長提出第56号	総務	消防・救急デジタル無線整備工事請負契約の締結について	市長提出第63号	民生	仮称越谷市保健所建設工事（空気調和設備）請負契約の締結について
市長提出第57号	総務	財産の取得について（越谷市消防署谷中分署用地）	市長提出第64号	民生	荻島保育所建設工事（建築）請負契約の締結について
市長提出第58号	民生	越谷市地区センター設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第65号	建設	越谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第59号	民生	越谷市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第66号	教育・環境経済	越谷市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について
市長提出第60号	民生	越谷市夜間急患診療所設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第67号	分割	平成25年度越谷市一般会計補正予算（第2号）について
市長提出第61号	民生	仮称越谷市保健所建設工事（建築）請負契約の締結について	市長提出第68号	省略	市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定について

木造2階建て、延べ床面積978・72平方メートルです。

越谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定

道路法施行令の一部が改正され、条例中で引用する政令の条文が移動したことに伴う条文整備を行います。

なお、本条例は公布の日から施行し、政令の施行日である平成25年4月1日から適用します。

市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定

下水道使用料賦課漏れの事案に対する管理責任として、市長および副市長の給料を減額するため制定します。

減額の内容は、平成25年7月における市長の給料を20パーセント減額とし、99万5000円を79万6000円に、副市長の給料を15パーセント減額とし、83万5000円を70万9750円とするものです。

▼議案質疑

問 定例会最終日に追加で本議案を提出した理由は。

答 できるだけ速やかに議案を提出したいと考えていたが、特別職の報酬については審議会に諮る必要があり、審議会の開催日の都合で、定例会最終日に追加提出した。

問 担当部課の職員の処分は。

答 本議案が可決された後に対応を検討したいと考えている。

問 過去に市長等の給料を減額した例はあるか。

答 直近では、平成9年8月に

開発部の次長が公金を着服したため懲戒免職になった事案において、市長の給料を2カ月間10パーセント減額、助役の給料を2カ月間5パーセント減額した例がある。

問 下水道使用料賦課漏れの再発防止策は。

答 再発防止に向け入力ミスがないようにチェック体制の強化をする。また、下水道の無断接続がないように指導を徹底するとともに、新規に接続した下水道に下水道番号がふられているか確認する。また、排水設備指定工事店の義務をより明確にし、違反した場合は指定を停止するなどの対応も検討していきたい。

問 審議会においてどのような議論がされたか。

答 他市や県外の市も含めて、同様の事例を参考に対応を検討し審議した。

問 賦課漏れの納付については、すでに納付されている分もあるようだが、未納付分についてはどのように対応するのか。

答 使用者の方々に経緯を説明し、お支払いいただくよう粘り強く交渉していきたい。

陳情

※陳情の全文はホームページに掲載されています。

風疹予防ワクチン接種への助成を求める件

陳情の要旨 越谷市として、風疹予防接種費用の助成を早急に行うよう陳情します。

市政に対する 一般質問

Question
6月定例会では、12人の議員が市政全般について質問を行いました。

新政クラブ

菊地 貴光 議員

Q 日帰り観光の促進策について

問 越谷市観光協会に登録している観光ボランティアは、日帰り観光が充実しつつある本市にとって重要な役割を担っていたているが、観光ボランティアの活動実績は。

市長 現在27人が観光ボランティアガイドとして登録している。平成23年度は22回の案内を行い参加者数は772人、平成24年度は28回の案内を行い参加者数は855人であった。また、観光ボランティアの活動人数は、平成23年度が延べ98人、平成24年度が128人である。

問 フィルムコミッション事業の実績は。

市長 問い合わせは平成23、24年度ともに100件以上、そのうち撮影件数は平成23年度が21件、平成24年度が13件である。

問 市内の地図情報を一つに集



こしがや住まいるマップ

約した「こしがや住まいるマップ」の観光情報と、フィルムコミッションで撮影に使われた場所をリンクさせる考えは。

市長 こしがや住まいるマップにおいて、事業者向けに情報発信することも検討していきたい。

民主党・市民ネットワーク
大石 美恵子 議員

Q 学校内のトイレについて

問 子どもたちが毎日長い時間

を過ごす学校ではトイレはとても重要である。快適な空間にするため、においや汚れの対策は。

市長 毎年全小中学校を対象に大便器と小便器合わせて1校当たり30器の尿石除去を専門業者に委託している。また、平成24年度にモデル事業として小中学校各1校で、オゾン水による洗浄やガラスコーティングを実施したが、引き続き実施し、その効果を検証していきたい。

問 洋式トイレに改修していく考えは。

市長 各家庭において洋式トイレが標準的となっている中、第4次越谷市総合振興計画に基づき福祉環境整備の一環として、洋式トイレへの改修を実施している。平成25年4月1日現在、小中学校の校舎棟の洋式トイレ整備率は約26パーセントであるが、現在小中学校にはトイレが合計670カ所あり、全ての改修にかかる費用は約15億円となる。限られた予算を有効活用し、計画的なトイレの整備に努めていきたい。

Q 大人の風疹ワクチン予防接種費用の公費負担の早期実現について

公明党越谷市議団
畑谷 茂 議員

問 妊娠初期の女性が感染すると胎児に影響を及ぼす可能性がある風疹が流行しており、早急に大人への風疹予防接種の公費負担を実施すべきと考えますが、市長の見解は。

市長 この度の流行を鑑み、先天性風疹症候群の予防と風疹ワ

クチン予防接種への意識啓発を図るため、費用の一部助成について早急に実施していく。

問 助成対象の想定人数および助成金額は。また、接種医療機関の範囲と補助開始前に接種した方への遡及対応の考えは。

市長 本市における最近の出生数が2800人程度であることから、対象者はおおむね5600人と考えている。接種費用の助成実施には医師会との協議や費用についても最終的な詰めが必要となる状況であるが、助成方法は接種後の申請に基づいて支給と考えていることから、市外での接種も対象になるとの理解で結構である。遡及対応については、領収書を紛失した場合の対応等、さらに詳細を詰めたうえで対処したいと考えている。

自由民主党市民クラブ
伊藤 治 議員

Q 前回の市長選挙公約について

問 高橋市長は、4年前の市長選挙において「安心度埼玉ナンバーワン」の越谷」を公約に掲げ、選挙法定ビラ等にはその実現のための具体的項目や実行期限が示されたが、この公約を4年間で達成できたか否か、見解は。

市長 市長選挙マニフェストは、所信表明等に反映させるとともに、多くを第4次総合振興計画にも位置付け取り組んできた。所信表明事項等として整理した35項目のうち、昨年10月時点で「実施した」または「実施中」が30項目、「着手済み」が5項目

目あり、全項目について進捗を図っている。基本政策として掲げた各分野の取り組みについては着実に進んできたところであ

り、今後も安心度を高めるまちづくりにつなげていきたい。

問 実行期限2年以内とした学

童保育室待機児童の解消は現在も達成されておらず、明らかに公約が実現できていないのでは。

日本共産党越谷市議団
山田 大助 議員

Q 災害対策の充実について

問 災害時要援護者をはじめとする災害弱者の避難対策についての取り組みは。また、災害時要援護者の人数は。

市長 平成20年から増林地区の一部で、災害時要援護者登録制度モデル地区を創設し、地域の協力体制を推進している。また、要援護者は、最大で約2万8000人になると考えている。

問 要援護者登録制度の課題は。

市長 要援護者の人員確保や要援護者宅を訪問する負担、助けなければいけないという精神的負担が大きい。また、要援護者に登録後、自治会等が訪問してくることにに対し、戸惑う人も多く

問 要援護者登録制度を市内全域に広げるための考えは。

市長 支援方法を細かく決め過ぎてしまい、負担が大きくなっている。もう少し柔軟に対応で

きるように検討している。

問 自主防災組織の資器材補助費の要望への柔軟な対応は。

市長 希望者は市に申請したとき、審査した結果、広い意味で防災資器材と認められれば、柔軟に対応していきたい。



梅林公園内の防災備蓄倉庫

清流越谷

佐々木 浩 議員

Q 子育て支援について

問 老朽化が激しい学童保育室の対策は。

市長 老朽化した学童保育室については、計画的に大規模修繕等を行ってきた。今後も地域ニーズや児童の推移等総合的に勘案し、待機児童が生じている蒲生第二学童保育室や大間野学童保育室、老朽化した大沢学童保育室や大沢北学童保育室、さらには大規模化した花田学童保育室など待機児童の解消に努めるとともに、良好な保育環境を確保するため、計画的に建て替えなどの整備をしていきたい。

問 保育所の建て替え計画は。

市長 第4次越谷市総合振興計画前期基本計画第二期実施計画に基づき、今年度実施する荻島保育所の建て替えにより、低年齢児枠の拡大を主とする定員増を図っている。今後は、同計画に基づく大相模保育所の老朽化に伴う建て替え整備事業において、建て替え用地を平成27年度までに取得できるよう準備を進めるとともに、後期基本計画の中で示される本体建設工事の実施に向けて取り組んでいきたい。



大相模保育所

公明党越谷市議団

橋詰 昌児 議員

Q 高齢運転者標識(自転車・バイク用)の導入について

問 和歌山県有田市で、昨年、自転車やバイクにも高齢者であることを示すステッカーの貼付を推進する条例が施行された。高齢者の交通安全対策の一助として、同様の取り組みを行うべきと考えるが、市長の見解は。

市長 高齢者の交通安全対策は

依然として大きな課題となっており、本市としても、警察署などの関係機関と協力しながら、春、夏、秋、冬の交通安全運動

や老人福祉センターにおける交通安全講話、さらに地区センターや自動車教習所と連携しながら実践的な交通安全教室を実施するなど、高齢者に交通安全意識の普及、浸透が図れるよう努めている。しかしながら、加齢による身体機能の衰えにより、運転動作の遅れや見落としによる高齢者の交通事故も多く発生していることから、高齢者の身体的な傾向を踏まえて注意喚起することも必要と考えている。今後高齢運転者が安全に自転車などを運転できる交通環境づくりに向け、先進事例などを参考に調査、研究を進めていきたい。

民主党・市民ネットワーク 辻 浩司 議員

Q 予防接種について

問 全国の自治体で定期予防接種が実施されているが、最近、そのワクチンの副作用による死亡事故などが問題となっている。予防接種は効果とリスクを考慮し、必要な人だけが必要なものを受ければよいと考えるが、予防接種のリスクを告知し、その上で接種の判断を個人に委ねるための情報提供を行う考えは。

市長 予防接種に関する国の検討の情報は必要に応じて対象者とその保護者へ通知するとともに、広報こしがややホームページでお知らせしている。また、

予防接種の通知と併せて、その有効性や副反応への対応等が掲載された冊子等も同封している。

法律上、対象となるお子さんが16歳未満の場合は、保護者に接種を受けさせる努力義務があることされており、市はその努力義務が果たせるよう勧奨を行うが、最終的には保護者に接種について選択していただいている。今後、国全体の公衆衛生を考慮しながら、予防接種の効能と併せ、リスク等についてPRすることも考えていきたい。

Q 市内中学校用歴史・公民教科書採択について

自由民主党市民クラブ 浅井 明 議員

問 歴史および公民教科書の採択権者、採択方法、採択期間は。教育長 採択権者は、学校を設置する市であるが、採択に当たっては、採択地区に設定されている吉川市、三郷市、八潮市の4市で決定する。平成23年度に歴史および公民教科書それぞれ7社7冊について、歴史の流れを理解させる工夫があるか、現代社会の考え方の基礎を養う工夫があるか等調査研究し、採択した。採択期間は平成24年度から27年度までである。

問 教科書展示会の会場と開催期間は。また、採択地区協議会で保護者等の意見を聞く機会は。教育長 三郷市立彦成中学校で、平成23年6月17日から7月1日の14日間開催し、それぞれ調査研究した教科書を展示した。また、展示会で保護者にアンケート

トを回答いただき、その内容を採択地区協議会で検討した。

なお、平成24年度から本市は単独で採択地区となったため、今後は独自で選定委員会等を設置し、今年度から教科書展示会を教育センター内で開催する。



越谷市立中学校で使用されている教科書(歴史・公民)

清流越谷

橋本 哲寿 議員

Q 多死時代に医療・看護・介護難民を出さないための組織改正について

問 越谷市の高齢化は世界のトップを走っている。越谷市が安心のシステムをつくることで、市民はもとより世界中の人々に喜んでいただくことができ、越谷市を世界に発信するチャンスと捉えている。平成27年4月の保健所設置に合わせて、「地域医療拠点」を設置し、関係機関・多職種連携を強化するためのハブ機能や市民向け相談窓口機能を持たせるとともに、超高齢社会に対応するまちづくり政策を担当する部署として設置する考えは。

市長 超高齢社会に対応するまちづくりは、庁内の各部にまたがった課題が出てくることから

予測され、連携をより密にして対応する必要があると考える。また、医療・介護機関との連携を図るとともに、その効果が最大限発揮できる推進体制を併せて検討していく必要がある。そのため、具体的な課題、問題点を整理するとともに、組織体制については、先進地の事例を調査しながら、関係機関との調整を図り、検討を進めていきたい。

Q 生活保護制度について

日本共産党越谷市議団 金子 正江 議員

問 基準引き下げによる受給者および市民への影響は。また、申請への対応はどのようになるのか。

市長 国が生活扶助基準等の見直しを決定したことに伴い、本市の受給者の支給額の試算では、月額2710円から6070円の減額となる。なお、準要保護者に対する就学援助等の地方単独事業についても、必要に応じて国の方針および依頼通知の趣旨に沿った対応に努めていく。また、生活保護申請に対しては、従前から申請権の侵害が疑われるような対応が起こらないよう、面接相談員やケースワーカーに対する周知徹底や情報共有を図っているが、生活扶助額等の改正や審議中の生活保護法改正案の内容を正確に把握し、受給者に混乱等が生じないよう丁寧か

保守無所属の会

大野 保司 議員

Q 学童保育室の朝の開所時間延長について

問 保育所の開所時間は、延長を含めると午前7時から午後7時までである。一方で、夏休みなど学校休業時の学童保育室の開所時間は、基本的に午前8時から午後7時までと、保育所よりも短い。このため、子育て家庭では子どもの入学後に働き方を変えざるを得ないなど、大きな負担となっている。そこで、学校休業期間中、学童保育室の朝の開所時間を延長する考えは。

市長 学童保育時間については、これまでも開始時間繰り上げの要望等があるほか、時に開室時間の10分から15分前に到着する児童も見受けられるが、現状特に問題はないと考えている。

問 8時の開室時間前に到着した場合、事故など何かあると補償がなく大変だと思う。また、保育所では2割近くの方が朝の延長保育を利用している現状から学童保育時間の繰り上げを至急すべきと考えるが。

市長 現状の勤務体制で8時前の勤務を求めることは非常に厳しく、費用対効果も含め総合的に判断していきたい。

常任委員会の活動

6月定例会に上程された市長
提出議案14件のうち12件が所管
の常任委員会に付託され審査が
行われました。

総務



財産の取得について（越谷市消防署谷中分署用地）

▼問 現在の谷中分署において、緊急車両の出動の際などに危険な場面はあったか。

答 緊急出動する際、人の通行や車が渋滞しているなど、危険な場面はあるが、職員が誘導や安全確認を行っているため、今まで事故等はない。

▼問 新たな谷中分署の概要は。また、安全対策などについて、近隣住民への周知や理解についての考えは。

答 老朽化に伴い建て替えを行うもので、新たな谷中分署は、ポンプ操法や複数の車両が連携する合同訓練などが可能となるよう用地を確保する。用地取得後は造成工事を行い、平成26年度に基本設計と実施設計を行い、平成27年度および28年度で建設を進める予定である。

今後、通学路の安全対策や工事公害の問題などについて、近隣住民へ説明を行うとともに、関係部署と十分協議を行いたい。また、消防署ということから昼夜にかかわらず、緊急車両が出動することに伴うサイレンや訓



民生

練時の音の関係は、消防業務遂行上必要であるため、ご理解いただきたいと考えている。

越谷市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例制定について

▼問 社団法人越谷市医師会が一般社団法人となったことに伴う変更点は。

答 市の委託事業に関して、特に変更が出てくることはないと考えている。

仮称越谷市保健所建設工事（建築）請負契約の締結について

▼問 保健センター等を含めた地域保健医療拠点の一体的整備を協議したか。また、保健所建設を先行することについて、中核市移行へ向けた期日的な要因があるか。

答 平成27年度の中核市移行へ向け、越谷市立保健所設置審議会の答申を受けて、保健所を先に建設することとなった。保健医療、福祉の連携を強化するための拠点として役割を果たせるため、停電時の電源確保のため、非常用の自家発電設備を屋上に設置する予定である。72時間の発電に対応し、約3000リットルの軽油を備蓄するタンクを地下に設置する予定である。



仮称越谷市保健所完成予想図

▼問 建設費の平米単価が他の公共施設と比較して高くなっている理由は。

答 構造的な部分で耐震性を通常の基準から1・5倍の強度としているほか、検査室などの設備的割合が高く、個別管理が可能で空調や吸排気設備が必要となる。さらに環境負荷低減や省エネルギーに関連して、太陽光発電やLED照明を導入していることも理由として考えられる。

仮称越谷市保健所建設工事（電気設備）請負契約の締結について

▼問 保健所の電気設備における災害対策は。

答 災害時における健康危機管理の拠点として役割を果たせるよう、停電時の電源確保のため、非常用の自家発電設備を屋上に設置する予定である。72時間の発電に対応し、約3000リットルの軽油を備蓄するタンクを地下に設置する予定である。

策および冠水対策は。

答 現在の荻島保育所に駐車場はないが、新たな保育所には13台分の駐車場を敷地内に確保するとともに、職員が朝の時間帯に車の誘導等を行って交通安全に配慮する。また、建設予定地は道路冠水がない場所を選定したところであるが、周辺道路より30センチメートル程度高く土盛りを行っている。

平成25年度越谷市一般会計補正予算（第2号）について

▼問 西方学童保育室の2室化により増える定員数は。また、交付金を活用した新たな施設の建設等について検討されたか。

答 2室化により、定員は90人から120人に増える。西方学童保育室は平成26年度に2室化する予定であったが、地域の元気臨時交付金を活用して前倒しで実施することとした。ほかの施設についても検討は行ったが、学校との調整や、交付金の対象が今年度中に完了する事業となっていること等の条件から、1カ所の整備が限度と考えている。



建設

越谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について

▼問 道路法施行令の改正で太陽光発電設備と風力発電設備が占用許可対象物件として追加されたが、市内の対象場所は。答 国から示された占用許可基準等では、道路に施設を設ける

場合は、発電設備の地面に接する部分が車道に接してはならないこととしている。具体的な場所として、連結路附属地、待避所の空きスペース等への設置や、アーケード、上空通路等の占用物件への添加が想定されているが、市内には該当する場所はなく設置は想定していない。

平成25年度越谷市一般会計補正予算（第2号）について

▼問 今回の補正を含めた歩道整備事業の全体的な概要は。

答 本事業は、国による地域の元気臨時交付金を活用し、老朽化したふた掛け水路の改修と合わせて歩道の整備を行うものである。現在までに総延長1300メートルのうち900メートルの整備を完了しており、残り400メートルのうち340メートルの整備については本年3月に補正予算として計上し、今回はさらに残りの60メートルの整備について計上した。



整備が進む須賀川通り（手前が整備された歩道、奥が整備予定の歩道）

▼問 今回の補正における排水機場施設維持管理の概要は。答 今回の補正は、地域の元気

臨時交付金を活用し、老朽化が進む北越谷一丁目排水機場の雨水ポンプ2台の更新工事を行うものである。なお、雨水ポンプについては、平成27年度末までに31台、約43・6パーセントを改修の目標値としている。

教育・環境経済



平成25年度越谷市一般会計補正予算（第2号）について

▼問 全自動煮炊釜の更新費用を、6月補正予算に計上した経緯は。また、調理機器の更新を計画的に行う考えは。

答 第三学校給食センターの全自動煮炊釜は老朽化が進行しており、故障箇所を修繕しながら対応している状況であるため、地域の元気臨時交付金を活用して機器の更新を行うものである。給食センターで使用する大型機器の更新の際には経過年数や機器の状況を考慮しながら更新計画を立て、毎年度の予算調整の中で検討していきたい。

▼問 地域の元気臨時交付金の補助対象事業となった経緯は。また、地域経済の活性化につながるか。

答 地域の元気臨時交付金は補助事業のほか、地方単独事業でも地方債の発行対象となる事業に充てることができることから、全自動煮炊釜の更新費用の申請を行った。また、県内に全自動煮炊釜を取り扱う業者が数社あると聞いており、地域経済の活性化につながると考えている。

特別委員会の活動

公共交通網整備推進



施してきました。

その結果、去る平成25年4月10日および5月9日の会議において、これまでの調査・検討内容を整理し、公共交通網の整備推進に関する提言として次のとおりまとめました。この提言について6月定例会で報告し、当委員会を閉会いたしました。

公共交通網の整備推進に関する提言

本市の公共交通は、東武スカイツリーライン6駅とJR武蔵野線2駅の市内8駅からのアクセスを基本に、それを補完する交通手段として路線バスやタクシーが事業者によって整備されてきた。しかしながら、今後さらに少子・高齢化が進み、人口減少社会に移行しようとする中、高齢者ドライバーの交通安全対策、マイカー送迎における負担の解消、高齢者の外出支援による健康寿命の増進、狭隘道路拡幅への財政的・技術的課題や地域および地域産業の活性化などへの取り組みが課題となっている。

特に、市街化調整区域など公共交通網が未整備の地域や、高齢者・障がい者等のいわゆる移動制約者にも配慮した新たな交通施策が求められている。

よって、公共交通不便地域の解消に向けた新たな交通施策の整備推進を図るため、次の事項について十分検討し、早期実現に向けて取り組むことを求める。

一 新たな交通施策を検討するための組織の設置について

道路状況や人口密度が低いなどの理由から路線バスの整備が進まない地域、いわゆる公共交通不便地域の新たな交通施策を検討するため、バス、タクシー等の交通事業者、利用者である市民、そして関係行政機関からなる検討組織を設置すること

一 新たな交通施策を検討するための試験運行の実施について

公共交通不便地域における新たな交通施策の実現に向けた課題をより具体的に整理・検討するため、モデル的にコミュニティバスや乗合タクシー等の試験運行を実施すること

一 新たな交通施策の導入に関するガイドラインの策定について

公共交通不便地域、移動制約者に配慮した新たな交通施策の導入を検討する場合の一定の条件や基準、ルールなどを定めたガイドラインを策定すること

こしがや市議会からの

お知らせ

9月定例会の開催予定

平成25年9月定例会は、9月2日（月）から25日（水）までの24日間にわたって開催する予定です。

《9月定例会の主な動き》

9月2日 開会・市長提出議案の上程・提案理由の説明

5・6・9・10日 市政に対する一般質問

11日 市長提出議案の質疑

12・13・17日 決算特別委員会開催

18・19・20・24日 各常任委員会開催

25日 市長提出議案の審査結果報告・質疑・討論・採決・閉会

※会議の予定は変更となる場合がございます。

議会中継のご案内

現在、本会議については、インターネットによる議会中継を行っています。これは、インターネットがご利用いただける環境であれば、ご自宅等にいないからでも本会議の様子がご覧いた

だけのものです。

議会中継には、本会議開会中にご覧いただける「ライブ中継（生中継）」と、いつでも視聴可能な「録画中継」があります。録画中継は、会議名・議員名・用語から見たい映像を検索できます。

越谷市議会ホームページからご利用ください。

議会傍聴のご案内

本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会は原則公開しています。

傍聴を希望される方は、市役所本庁舎4階の議会事務局までお越しいただき、傍聴申込書に住所・氏名をご記入ください。

傍聴は、市議会の活動にふれることができる身近な方法ですので、ぜひお越しください。

表紙写真の募集

こしがや市議会だより平成25年11月1日号の表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、その他季節に合うもの
応募資格

越谷市内在住、在勤または在学の方

応募規定

写真は、次のいずれにも該当するもので、1人1回につき2枚まで応募できます。

①応募者本人が越谷市内において6カ月以内に撮影したもの

②未発表のもの

③カラープリント2しサイズ、またはデジタルデータで提供できるもの

④人物が写っている場合は、被写体の承諾を受けたものです。

応募期間

平成25年10月11日（金）まで（必着）

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて越谷市議会事務局まで提出してください。なお、提出された写真は返却いたしません。

掲載

採用された写真には、応募者（撮影者）の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。

その他

採用された写真の著作権は本人に帰属します。ただし、「こしがや市議会だより」に掲載後6カ月間は、他媒体での発表等は行わないこととします。

議員表彰

平成25年度全国・埼玉県各市議会議長会定期総会において、永年にわたる地方自治の発展に寄与された功績により、次の方々が表彰されました。

議員職10年以上表彰（議席順）

大石美恵子



平成15年から当選3回。教育・環境経済常任委員長、予算特別委員長、決算特別委員長

江原千恵子



平成15年から当選3回。議会運営副委員長、民生常任副委員長、予算特別委員長などを

藤森 正信



平成15年から当選3回。副議長、民生常任委員長、公共交通網整備推進特別委員長などを

浅井 明



平成15年から当選3回。監査委員、民生常任委員長、決算特別委員長、議会運営委員などを

伊藤 治



平成15年から当選3回。議長、副議長、議会運営委員長、決算特別委員長、民生常任副委員長などを

議会人事

6月定例会において、任期満了に伴い、議会運営委員会および常任委員会の委員が改選されました。また、各種議会議員、審議会等委員の辞任等に伴い、後任の委員等が選出されました。

議会運営委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○伊藤 治 ○高橋 幸一

辻 浩司 大野 保司

菊地 貴光 武藤 智

山田 大助 畑谷 茂

瀬賀 恭子 島田 玲子

〔所管事務〕 議会運営に関する事項。議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項。議長

の諮問に関する事項

総務常任委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○橋詰 昌児 ○菊地 貴光

○藤森 正信 榎村 紀元

中村 譲二 白川 秀嗣

松島 孝夫 武藤 智

菊地 貴光

○守屋 亨 岡野 英美

橋詰 昌児 竹内 栄治

瀬賀 恭子 畑谷 茂

○自由民主党市民クラブ

○野口 佳司 浅井 明

伊藤 治 金井 直樹

島田 玲子 服部 正一

○民主党市民ネットワーク

○玉生 芳明 大石美恵子

辻 浩司 福田 晃

○清流越谷

○後藤 孝江 佐々木 浩

高橋 幸一 橋本 哲寿

○保守無所属の会

○江原千恵子 小林豊代子

大野 保司

○日本共産党越谷市議団

○金子 正江 山田 大助

江原千恵子 金子 正江

玉生 芳明 佐々木 浩

伊藤 治 野口 佳司

〔所管事務〕 一般会計予算のうち歳入に関する事項。市長公室、企画部、総務部、市民税務部、出納課、消防本部、議会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員および固定資産評価審査委員会の所管に関する事項。その他、他の常任委員会の所管に属さない事項

民生常任委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○白川 秀嗣 ○橋本 哲寿

福田 晃 山田 大助

畑谷 茂 松島 孝夫

岡野 英美 浅井 明

〔所管事務〕 労働安全部、福祉部、子ども家庭部、保健医療部および市立病院の所管に関する事項

建設常任委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○藤森 正信 ○竹内 栄治

高橋 幸一 小林豊代子

大石美恵子 瀬賀 恭子

服部 正一 中村 譲二

〔所管事務〕 建設部および都市整備部の所管に関する事項

教育・環境経済常任委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○武藤 智 ○島田 玲子

辻 浩司 大野 保司

後藤 孝江 守屋 亨

金井 直樹 榎村 紀元

〔所管事務〕 環境経済部、農業委員会および教育委員会の所管に関する事項

議会報専門協議会委員

図書室協議会委員

(○議長 ○副議長)

○金井 直樹 ○岡野 英美

橋本 哲寿 小林豊代子

大石美恵子 瀬賀 恭子

島田 玲子 松島 孝夫

金子 正江

埼玉県都市競艇組合議会議員

金井 直樹

東埼玉資源環境組合議会議員

高橋 幸一 菊地 貴光

橋詰 昌児 島田 玲子

白川 秀嗣 玉生 芳明

越谷・松伏水道企業団議会議員

辻 浩司 橋本 哲寿

大野 保司 畑谷 茂

服部 正一 松島 孝夫

○藤森 正信 ○竹内 栄治

高橋 幸一 小林豊代子

大石美恵子 瀬賀 恭子

服部 正一 中村 譲二

〔所管事務〕 建設部および都市整備部の所管に関する事項

教育・環境経済常任委員会委員

(○委員長 ○副委員長)

○武藤 智 ○島田 玲子

辻 浩司 大野 保司

後藤 孝江 守屋 亨

金井 直樹 榎村 紀元

〔所管事務〕 環境経済部、農業委員会および教育委員会の所管に関する事項

議会報専門協議会委員

図書室協議会委員

(○議長 ○副議長)

○金井 直樹 ○岡野 英美

橋本 哲寿 小林豊代子

大石美恵子 瀬賀 恭子

島田 玲子 松島 孝夫

金子 正江

埼玉県都市競艇組合議会議員

金井 直樹

東埼玉資源環境組合議会議員

高橋 幸一 菊地 貴光

橋詰 昌児 島田 玲子

白川 秀嗣 玉生 芳明

越谷・松伏水道企業団議会議員

辻 浩司 橋本 哲寿

大野 保司 畑谷 茂

服部 正一 松島 孝夫

金井 直樹 伊藤 治

中村 譲二 榎村 紀元

農業委員会委員

大石美恵子 竹内 栄治

藤森 正信

民生委員推薦会委員

畑谷 茂 浅井 明

都市計画審議会委員

橋本 哲寿 大石美恵子

瀬賀 恭子 藤森 正信

野口 佳司 榎村 紀元

青少年問題協議会委員

白川 秀嗣 金井 直樹

越谷市土地開発公社理事

福田 晃 瀬賀 恭子

松島 孝夫 後藤 孝江

野口 佳司

越谷市土地開発公社監事

武藤 智

越谷市社会福祉協議会理事

岡野 英美

越谷市社会福祉協議会評議員

白川 秀嗣 橋本 哲寿

埼玉県共同募金会越谷市支会理事

岡野 英美

埼玉県共同募金会越谷市支会評議員

白川 秀嗣 橋本 哲寿

本庁舎整備審議会委員

福田 晃 高橋 幸一

竹内 栄治 金子 正江

野口 佳司



越谷市議会本会議場

市議会豆知識

委員会とは

委員会とは、本会議での審議の前段階として予備的な審査等を行う議会の内部機関です。専門的に詳しく審査や調査を行うため、それぞれ所管を定め、小人数の議員により構成されています。

- 常任委員会 ■
議案や請願等の審査および各委員会が所管する事務の調査を行うため条例により設置する委員会です。越谷市議会では、総務、民生、建設、教育・環境経済の4つの常任委員会を設置しています。
- 特別委員会 ■
特に重要な案件や2つ以上の常任委員会にまたがる案件について調査・審査するため議決により設置する委員会です。例年、越谷市議会では、3月定例会では予算審査のために予算特別委員会を、9月定例会では決算審査のために決算特別委員会を設置しています。
- 議会運営委員会 ■
定例会の会期や日程の調整等、議会運営を円滑にすることを目的として条例により設置する委員会です。

傍聴して一言

今定例会では30人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。
■すべての質問に対して応答に具体策がなく多少不安に感じた。
ぜひ迅速に具体策を考えて行動していただきたい。
■たくさんの方が傍聴すれば、より白熱した議会になるのでは。
未知の世界で新鮮だった。住んでいる地域のことをもっと勉強しなければいけないと思った。
■いろいろな施策を討論する場だと思った。時間があつたらまた来たい。もっと活気がある
とよいと感じた。
■誰がいつ質問するかを明確にした方が、傍聴する側は予定を組みやすいと思う。

編集後記

前号からの紙面構成変更に伴い、8ページにおいて、新たに「市議会豆知識」を掲載しております。
ここでは、皆さまに市議会をより身近に感じていただきたく、市議会に関する基礎知識などをお知らせしていきます。
今後とも、皆さまからのご意見等を踏まえながら、さらに親しまれる議会だよりづくりに努めていきます。